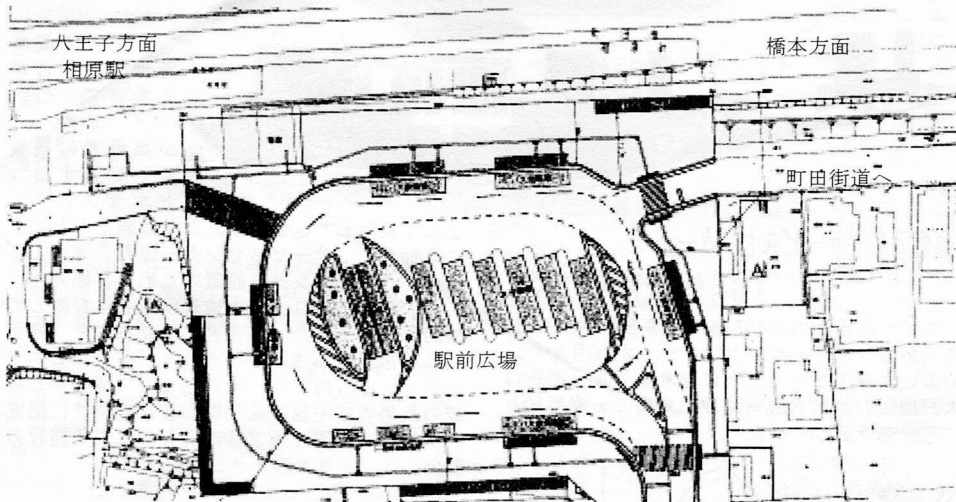




2004年  
8月1日  
第17号

発行 相原まちづくり協議会

責任者 今村 忠司  
所在地 町田市相原町1 2 4 1  
電話 042(774)8705

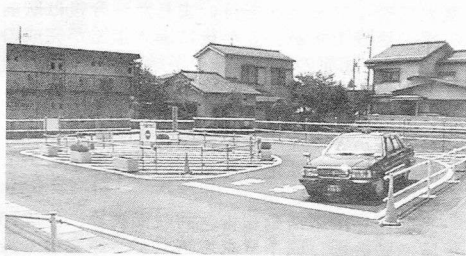


＜駅前広場計画図＞

## 相原駅前広場の概要が明らかに

相原駅舎と自由通路が完成し、いよいよ平成20年3月末完成予定の西口広場事業がスタートしました。

広場面積5,300㎡にバス乗降場所4箇所、待機場6台、タクシー乗降場所2台、待機場6台、一般車乗降場所3台、駐輪場133台、歩道の幅員は10mです。道路は広場から西に幅員20m、歩道部分が両側4.5m、町田街道につながる南北道路は幅員16m、歩道部分が両側3.5mで計画されています。



今、その形が少しずつ見えてきました。地域の皆様のご理解とご協力で、駅広場が整備され駅がますます便利になります。細長い相原にへ

そ(中心)ができ、そこから枝葉を伸ばし、美しく活気ある暮らしやすい町に、変わり始めています。今後新たな問題や困難があろうとも、皆様の知恵とちからを原動力とし、すばらしい相原へと変わりつづけて欲しいものです。

## 相原中央公園一部完成で

### イベント開催予定

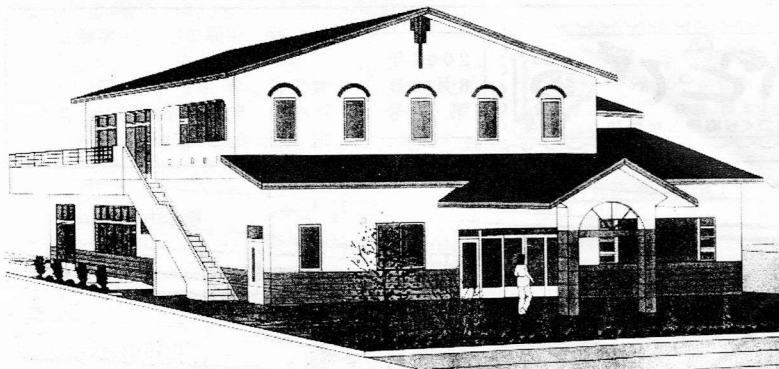
昨年秋に着工した相原中央公園のうち、待望のスポーツ施設である多目的広場(1)他の第1期工事が来年の3月に完成の予定です。

サッカーや野球のできる広場と壁打ちテニス場などです。照明設備も備えられた本格的な施設です。

引き続き第2期工事へと進みます。区切りとして町田市では式典を、地元では完成記念のイベントが来年の4月に計画されています。

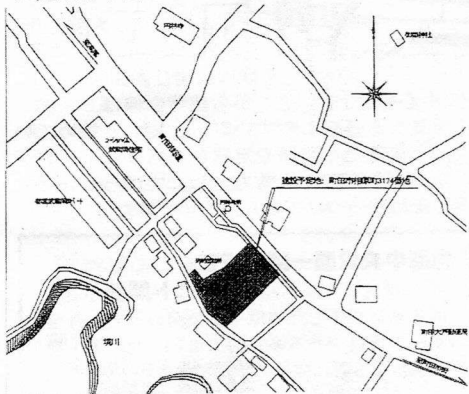
イベントはこれから実行委員会を立ち上げ、準備を始めます。多くの団体や町民の方々のご協力が求められます。

また、(財)相原保善会の相原共有地は明治38年に誕生して100年目を迎えることから同公園のイベントに合わせてお祝いし、共有地の存在と意義を再認識の機会として捉え、大いに盛り上げていきたい意向を示しています。



## 高齢者在宅サービスセンターが 10月から大戸で着工へ

高齢者の通所による入浴や食事を提供する「相原高齢者在宅サービスセンター」が10月から、いよいよ着工されることになりました。場所は、大戸地区の都営武蔵岡団地の東端で、来年10月に完成を予定しています。



同施設は敷地面積998.7㎡(都より無償提供)、建築面積442.63㎡の鉄筋コンクリートの2階建てです。施設は炊事場、広間、風呂などが整備されます。高齢者に楽しんでもらうため、とくに風呂は大きくして、外の景色が見えるようにしています。

主な事業はデイサービス(通所介護事業)です。定員30人になっています。このほか、ホームヘルプ(訪問介護事業)、居宅介護支援事業も行うことにしています。バスを用意して、送り迎えをします。同センターの周辺に農地を確保して、高齢者が植物に触れる菜園なども計画しています。

運営主体は「相原やまゆり会」です。地元で会食事業を4年前から大地沢青少年センターで

第3水曜日に実施しています。会員は約40名です。すでにNPO(特定非営利法人)の資格をとっています。

相原町の高齢者世帯の割合が高まっているため、「やまゆり会」が高齢者に昼食サービスするなどボランティア

として実践してきました。この体験をもとに市に高齢者在宅サービスセンター建設を要求してきました。同センター設置のために、地元と、法政大学も加わり、基本構想検討会を設置して検討してきました。報告書によりますと「緑あふれる相原にふさわしい高齢者在宅サービスセンター」を目指して、①地域で支え運営する地域のための在宅福祉活動拠点②立地特性に配慮した施設の整備と運営③市民参加による施設の整備の3つを基本理念としています。

地元の要望を入れて設計されました。市では昨年12月末までに基本設計、今年3月19日までに実施設計、6月の市議会で建築費予算が承認されたため、9月に地元の説明会があり、10月から工事が開始されます。

## 相原まちづくり協議会 総会で活動方針決定

相原まちづくり協議会は5月23日に中相原会館で平成15年度の定期総会を開きました。総会は理事・監事のほか、各町内会から2名の代議員が出席しました。

総会は今村忠司理事長から「昨年は念願の相原駅の橋上化が実現して、みなさんのご協力で盛大に竣工フェスタを行いました。今後は駅前広場の建設ですが、5年後に進入道路が完成の予定です。相原の人口は減少が始まっています。子どもが親元を離れる家庭が多くなっていること、高齢化などから高台の住宅団地から、平地に移る人が多くなったなどが考えられます。みんなで相原の活性化を考えていきましょう」との挨拶がありました。

平成15年度の活動報告、同収支決算、平成16年度活動計画、同予算を協議して、原案通り決定しました。役員改選(平成16年度～18年度)では理事長に今村忠司、副理事長に島崎郁也、同杉崎大吉の留任が決まりました。

16年度活動計画では「相原駅西口進入・南北

(2面より続く)道路の早期建設や改善をはじめ、相原町全体の街並み整備の推進、まちづくりのための人づくりの計画を実行します」としています。

来賓挨拶として中島博・相原連合町会会長、城定國光・改善会理事長、北島一夫・相原中央公園建設促進委員会委員長、井上春雄・町田市健全育成相原地区委員会委員長からそれぞれありました。

## 駅前広場、中央公園、子どもセンターなど 活動報告

相原まちづくり協議会の主な15年度の活動報告は以下の通りです。

### <相原中央公園>

平成15年9月6日に公園の起工式が行われ、多目的広場1の工事が着手され、ほぼ完成の姿が見えてきました。計画の概要は多目的に使用できる競技場(多目的広場1)やテニス、ゲートボール、こども遊び広場などのほか、四季折々の花が楽しめる遊歩道、イベント広場などが計画されています。今後は、2期工事にに向けて、より良い公園を目指していきます。また、今年4月24日に「さくらの丘」で「花と緑の会」を実施しました。この時期に設定したのは第1期工事の完成が16年度末になりますが、この完成式典に合わせ、相原町あげてのイベントを計画しているからです。

### <相原子どもセンター>

相原子どもセンター誘致委員会は子どもセンター誘致のため、5年余りの活動をしてきました。16年1月の市長懇談会で寺田市長の相原地区に設置の明言で、具体的な運営準備に入りました。同委員会は相原連合町会、健全育成相原地区委員会、各子ども会、各PTA、相原まちづくり協議会が構成しています。新しく、各子ども会、各PTA、健全育成による運営準備委員会を結成しました。若い母親や父親による構成で子ども委員の選抜育成を中心に受け入れ態勢を整えています。建設部会、子ども支援部会、広報部会の部制のもとで、活発に行動を開始しています。

### <大戸源流森の会>

相原町の西部地域・大地沢から法政大学の西門、大戸観音周辺の約124%の緑地指定されているうち、都が所有する32%部分を有効に生かすため、都から地元へ協力要請がありました。これまで数回の会合をもち、大戸緑地の整備について検討してきました。草刈り、枝打ちなどの手入れをして、都民に自然の緑を楽しんでもらう、大戸緑地プレ・パーク事業として動き始めました。名称は「大戸源流森の会」と決まりました。都の財政難から「怪我(保険)と弁当は自分もち」という完全無償ボランティアです。地元では相原改善会、相原

まちづくり協議会、大戸町会が協力しています。毎月2回、いずれも土曜日ですが、活動しています。緑地保存の意義を知っていただくためにも、多くの人の参加を期待しています。

問い合わせ先は今村まで(電話771-5654)

### <区画整理・駅前広場>

相原駅前西口広場と駅に入る据え付け通路は平成15年に計画が決定して、5年後の完成を目標に進められています。駅を中心としたまち並み整備について、行政と話し合いをすすめています。

駅前の区画整理は平成7年に提案されてから、9年たちます。測量はほぼ終わりましたが、市の財政難などから次の段階に、進展していません。

### <相原駅橋上駅舎>

平成13年12月15日の起工式以来、順調に工事が進み、平成15年5月31日に自由道路開通式に続き、6月1日に「ニュー相原駅フェスタ」開催しました。

大勢の人たちからご協賛を賜り、相原の多くの団体の協力を得て、相原をあげた盛大なイベントが実施できました。相原駅は3月末で、すべての工事が完了しました。

### <堺中プール・体育館建設>

現在の堺中の体育館は老朽化がすすみ、雨漏りで使用に支障をきたしています。市では18年度の完成を目標に体育館・プール併設で建設する計画で準備が進んでいます。プールは市民開放型を目指していることから、規模は現在より大幅に拡大します。このため、用地確保が必要です。建物は1階にプール、2階に体育館になるよう希望しています。状況によっては市民解放型のプールは断念することもあります。

## 大地沢まつり 8月21日(土)に開催!



- 主な内容
- 1) 祭花伝(大戸沢、大戸沢、大戸沢、大戸沢)
  - 2) 地元の文化(大戸沢)の展示(大戸沢)
  - 3) 大戸沢の文化(大戸沢)の展示(大戸沢)
  - 4) 大戸沢(大戸沢)の展示(大戸沢)
  - 5) 大戸沢

## 写真で見る「中相原神輿の歴史」

中相原みこし改修15周年記念事業の一貫として記念誌の作成に取り組み、発行がまじかになっています。

記念誌「中相原神輿の歴史」には、神輿の歴史やまちの変遷の写真を満載、歴代の役員体験を座談会形式にして、中身は濃く見やすい形で紹介しています。

編集に当たってわかったことは、昭和3年に5-2部落の貧しい村を盛り上げたいと、当時この部落の先人が子供神輿を作ったことから始まっています。

この頃は、丸山と中相原は一つだったので、お祭りと言えば、諏訪神社に行くのが常で中相原は何もありませんでした。また、となりの相模原は神輿も屋台もあって、かつぎに行くと邪魔にされたなど、どうしても神輿がほしかったことが原点となっています。

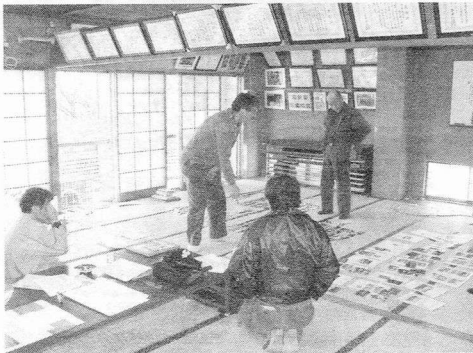
戦前には、祭りもままならなかったが、戦後復興期には、たる神輿やぶつつわり舞台があり一夜神輿と言われた大人白木神輿となりました。

昭和24年に初めて本格的な大人神輿ができ、29年には子供神輿と祭りが盛り上がりを見せました。昭和42年に、5-2部落は中相原町会と命名され、町会として出発し、その後59年には、「みこし会」が発足し、一段と結束が高まりました。

平成元年に役員が一念発起して新神輿を製作したのが、現在担がれている神輿です。

平成14年7月に中相原みこし改修15周年記念事業実行委員会による記念誌発行活動が始まりました。いざ執りかかると、大変な作業の連続でした。また、長老の方々と座談会を開き神輿製作当時のお話を聞かせていただきました。実際に作成に携わった関係者の話して、旧神輿の解体、調査で真実を知ることができました。

題号の通り、写真で見るために集めた資料は、実際に紹介された枚数の何倍にもなっています。



【相原まちづくり協議会は、11町会・自治会のみなさんが会員です。各町会・自治会から推薦された理事・監査で運営しています。】

### 平成16年度

#### 相原町 連合町内会 役員 (敬称略)

会長 中島博(丸山)、副会長 花形亮一(大戸)、副会長 井上春雄(陽田)、会計 橋本孟雄(丸山団地)、会計補 藤沢昭子(中村)、監査 北島俊夫(中相原)、監査 平山富士雄(武蔵岡) 庶務 塚越利夫(仲町)、庶務 手塚信一(元橋) 庶務 陶山司(坂下)、庶務 若松勉(境)

### 平成16年度

#### 相原まちづくり協議会 役員 (敬称略)

任期3年 ○は新任理事

理事長 今村忠司(陽田)、副理事長 島崎郁也(境)、副理事長 杉崎太吉(坂下)、会計 諏訪賢一(仲町)、総務 横溝廣喜(中村)、総務 土田恭義(元橋)、総務 ○片岡勇(元橋)、監査 ○矢島稔春(仲町)、(監査) ○北島俊夫  
理事 ○八木秀雄(境)、○久保田貞夫(坂下)、○原弘明(陽田)、○青木真喜子(中村)、塩澤一男(丸山)、○長柄忠夫(丸山)、須田勇治(丸山団地)、船木豊春(丸山団地)、古谷雄二(中相原)、○吉川昱(中相原)、本徳亘良(武蔵岡)、○富田良雄(武蔵岡)、○松井一英(大戸)、○小泉政行(大戸)、相談役 八木邦治 市議会議員、井上正行 市議会議員、伊藤泰人 市議会議員

## 相原子どもセンター 一歩前進!

町田市の6月補正予算に我々の相原子どもセンターの計画予算が計上され可決されました。

まだ僅かな金額ですが市による検討調査が積極的を開始され、地元と学識経験者や設計事務所による検討委員会も準備調査もまもなく始まるとのことです。受け入れ側の地元運営準備委員会もいっそう活発に動き、待望の子ども委員会も行動開始しました。平成18年度中の開設を目前に、大勢が参加・活動できる会場づくりを夢見て活動しています。

## 相原JAO会(傘) 引き続き傘募集中

駅の東西に1ヶ所ずつ設置してから傘が不足しています。是非御協力ください。相原まちづくり相談所は担当者不在になりましたので隣の中島宣伝社様にてお預かりいたします。

### 編集後記

まちづくり協議会の役員任期は3年ですが、今年は大改選で半分の人が入れ替わりました。理事会での発言も新鮮な意見が続出して、活発です。知らないための大胆な提案もありますが、多くは素朴な市民の皮膚感覚から発したものです。いつまでも、初心を忘れずに、この姿勢を大事にしたいものです。「あいとびあ」の編集も相原町住民の機関誌としての意気込みで取り組んでいきたい。

(今島、原、吉、須)